

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	みどり公園課課長 梅澤 好二	
		主管課(関係課)【2】	みどり公園課(産業振興課)	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
環1-1	みどりの保全・活用	豊かなみどりを保つために	環境にやさしいまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	みどりの保全を進めるためには、公園ボランティアの拡充や援農ボランティアの組織化を進めていくことが必要です。また、引き続き体験農園の整備を進めることも必要です。こうした取組とともに民有地などの緑化支援を行うことで、市民が自発的に緑化活動に取り組めるしくみを形成します。		・公園・緑地・農地の活用によるまちづくり(公園や緑地、農地を保全するだけでなく、活用していくことで市民とともに保全していくしくみを形成する。) ・援農ボランティアの組織化	市民による公園管理のしくみや、個人が所有する農地や樹木、樹林、生垣などを維持するしくみを整え、身近なみどりの保全・活用をめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇平成21年12月に農地法が改正され、農地が現在及び将来における国民・地域の貴重な資源であるとされました。				
事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
1	みどりを保全・活用するしくみを形成します	緑地を保全・活用するしくみの形成		
2	農地の保全・活用を行うためのしくみを形成します	農地を保全・活用するしくみの形成		

【施策の成果】

				年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	西原自然公園樹林の更新された面積の割合	目標値	50%		単位	%			
		算出式・説明	市内でも数少ない貴重な樹林を有する西原自然公園において、樹林の再生を図るため、主林木であるクヌギやコナラの成長などを促すための植生管理を行い、その更新された面積の割合としました。								
		実績値	20	25	30						
	達成率	40%	50%	60%	0%						
	指標2	名称	公園ボランティア登録会員数	目標値	800人		単位	人			
		算出式・説明	公園ボランティア事業の経験を通じてみどりの管理を行うことで市民の意識向上を図り、身近なみどりに対する継続的な関心や活動へとつなげることが必要です。								
		実績値	748	698	749						
	達成率	94%	87%	94%	0%						
	指標3	名称	体験農園区画数	目標値	300区画		単位	区画			
		算出式・説明	西東京市では団塊の世代の地域活動への参加などを背景に農業体験に対するニーズが高まっており、体験農園を設置することで市内にみどりを増やすとともに農地の保全に取り組むことが重要です。								
		実績値	186	250	263						
	達成率	62%	83%	88%	0%						
指標4	名称		目標値			単位					
	算出式・説明										
	実績値										
達成率											
達成率の平均値				65%	73%	81%	0%				

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度	
満足度(%)	34.9%	満足度(%)	35%
満足度(平均ポイント)	0.02	満足度(平均ポイント)	0.05
重要度(%)	76.8%	重要度(%)	75.3%
重要度(平均ポイント)	1.11	重要度(平均ポイント)	1.1

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input checked="" type="checkbox"/> まだ未達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】 <input type="checkbox"/> 弱くなっている <input type="checkbox"/> 以前と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 強くなっている		
		意識調査での重要度【18】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る		
総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化	施策実施方針【22】 V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	
今後の方針【19】 ◇みどりの保全については、ボランティアの高齢化が考えられることから、ボランティア養成講座等を充実させ、若い人材の養成、確保を図ると共に、近隣の学校との連携を推進し、市民との協働で取り組める仕組みづくりを行ってまいります。 ◇都市農地の保全については、防災、環境、食育などの多面的な機能を有する都市農地を保全するため、農地法や都市計画制度の見直しを踏まえ、農協と連携して、体験農園、市民農園用地の確保と整備に努めます。 ◇援農ボランティアについては、受け入れ農家の固定化を改善するため、農協と連携し新たな受け入れ農家の開拓に努めていきます。また、援農ボランティアを必要とする農家に対し、速やかに紹介ができるようなシステムづくりに取り組んでいきます。				
説明【23】 なし				
総合評価	判断理由等【24】 みどりの保全・活用については、成果指標として掲げた目標について、順調に実績を伸ばしてきており、このままいけば計画期間内の目標達成が可能と見込まれます。市民意識調査における満足度が相対的に高いことを踏まえると、全体としてはコスト面での効率化に努めるべきものと判断します。 なお、これまでもボランティアとの協働等により低コストで成果をあげている事業については、引き続き現状のペースを維持して施策目標の達成を目指すこととします。	施策実施方針【22】 VI コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域		

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	なし
--------	----

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化	判断理由等【24】 みどりの保全・活用については、成果指標として掲げた目標について、順調に実績を伸ばしてきており、このままいけば計画期間内の目標達成が可能と見込まれます。市民意識調査における満足度が相対的に高いことを踏まえると、全体としてはコスト面での効率化に努めるべきものと判断します。 なお、これまでもボランティアとの協働等により低コストで成果をあげている事業については、引き続き現状のペースを維持して施策目標の達成を目指すこととします。	
	施策実施方針【22】 VI コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域			

【施策内の事務事業貢献度判定】

環1-1 みどりの保全・活用

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	グリーンバンク制度の運営	みどり公園課	家の建替えなどにより伐採や撤去されてしまう樹木を活用（移植）することにより、身近なみどりを守り育てます。不必要となった一定基準の樹木を申請に基づき登録し、引取りを希望する市民に斡旋しています。また、登録情報については、市ホームページや所管窓口で公表を行っています。
	公園ボランティア拡充事業	みどり公園課	西東京市が管理する市立公園その他緑地帯の管理運営に自主的に参加する市民及び団体の活動を促進し、市民意識の向上・管理コストの削減を図り、公園等を安全かつ快適に利用できる場とします。協力してもらえる内容ごとに登録して、その範囲内で協力してもらいます。また、協力会員に対しゴミ袋・ホウキ・熊手等の用具を支給しています。
2	市民農園の設置・運営、体験農園の開設支援【事前】	産業振興課	市民農園は、市が借り受けた農地において市民が自らの手で野菜を栽培することを通して、生産の喜びを知り、農業に対する理解を深めます。現在、市内に4箇所設置されています。募集に関しては毎年行い、2年間契約となっています。一方体験農園は、市内において市民が農作業を体験できる農園を設置するものに対し、体験農園設置に要する経費の一部を補助しています（上限額200万円）。現在4箇所に設置されています。
	援農ボランティアの活用	産業振興課	農家の労働力の不足を補うとともに、農業にふれあい、農業者との交流を深め、都市農業の意義と役割を理解してもらうため、農業に関心を持つ市民を援農ボランティアとして養成します。講義形式の座学を2回と市内農家での農業体験を10回（1回あたり2時間程度）程度行い、ある一定程度の出席をすれば最終的に「援農ボランティア終了証」を発行します。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】	事務事業の 評価(直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費			
3,402	2,594	808	継続実施 (平成20年度)	中	市民団体との協働による植生管理により、西原自然公園の樹林地としての再生が図られると共に、子供たちを含めた市民の自発的な緑化活動への参加が促進されます。
162	0	162	改善・見直し (平成20年度)	下	不要となった樹木を市民の方々に斡旋することで、身近なみどりが保全されます。
1,371	563	808	継続実施 (平成19年度)	上	公園ボランティアの方々と協力することで、公園等を安全かつ快適に利用できる場所として提供することができると共に、市民の自発的な緑化活動への参加が促進されます。
0	0	0	改善・見直し (平成19年度)	中	農地を体験農園として活用し、利用を通じた農業・農地に対する理解を深めることで、都市農地の保全につながります。
1,776	402	1,374	休止 (平成19年度)	中	援農ボランティア活動を通じて、農業・農地に対する理解を深めることで、都市農地の保全につながります。
6,711	3,559	3,152			